



—東地中海・北アフリカ地域ニュース—

エジプト：ムルスィー大統領の公約履行状況に関する世論調査 (2日付現地各紙)

1. 首相府情報センターは、「100日プログラム」の達成状況および国民の満足度について9月5日から12日にかけて調査を行い、1日に報告書を発表した(注：100日プログラムとは、就任後100日間で、交通、食料、燃料、公衆衛生、治安の5分野を改善するとしたムルスィー大統領の選挙公約。調査が行われたのは就任後64～74日目に当たる時期であり、10月8日に就任後100日目を迎える)。全国各県の1,312名を対象に調査が行われ、1,039名から回答が得られた(注：対象者の年齢・性別、調査方法等は不明)。
2. 報告書では、100日プログラム達成度の総合指数を「51.6」とし、これまでに実施された措置はまだ具体的な成果を出していないと結論付けた(注：報告書はゼロ～100の指数で達成度を示し、最低の「ゼロ」はムルスィー大統領就任前に比べ状況の悪化、中間の「50」は就任前後で状況に変化がないこと、最高の「100」は就任後の状況改善を示す)。
3. 分野ごとの全国の指標は以下の通り。
 - (1) 燃料供給： 61.2 (注：就任前と比べ状況が改善)
(うち、ガソリン・ディーゼル供給は61.6、ブタンガス供給は60.7)
 - (2) 治安改善： 52.6 (注：就任前と比べ状況が若干改善)
 - (3) 補助制度によるパンの供給： 51.3 (注：就任前と比べ状況が若干改善)
 - (4) 交通渋滞の緩和： 48.9 (注：就任前と比べ状況が悪化)
 - (5) 公衆衛生の推進： 45.7 (注：就任前と比べ状況が悪化)
4. プログラム全体に対する地域ごとの評価は以下の通り。
 - (1) 都市部(カイロやアレキサンドリア等)： 54.7 (注：就任前と比べ状況が若干改善)
 - (2) 下エジプト(デルタ地域)： 52.4 (注：就任前と比べ状況が若干改善)
 - (3) 上エジプト(南部)： 48.9 (注：就任前と比べ状況が悪化)
5. なお、調査に回答した者のうち37.2%が100日プログラムを知らないと回答した。また、同プログラムを知っていると答えた者62.8%のうち、同プログラムが最終的に達成されると予想する者は18.2%、部分的に達成されると予想する者は46.2%、全く達成されないと予想する者は9.8%であった。

◎本「かわら版」の許可なき複製、転送、引用はご遠慮ください。

ご質問・お問合せ先 公益財団法人中東調査会 TEL:03-3371-5798、FAX:03-3371-5799